

中間とりまとめで課題とされた事項の検討の進め方について

大項目	中項目	小項目	具体的事項	進め方
. 効率性の評価	1. ダイオキシン対策としての評価	(1) 効果の算出方法の改善	環境への放出量の低減効果の算出方法の改善	補強できるデータを収集し、算出方法の確度の向上を図る
			環境中濃度の低減効果の予測	環境動態モデルを用いて大気、水質、土壌等の媒体別に環境中濃度を予測することができないか検討
			摂取量の算出方法の改善	環境動態モデルの改良、異性体別の摂取比率を考慮した摂取量の算出を検討
			健康影響の低減効果の定量化の検討	摂取量を健康影響に換算することができないか検討
		(2) リスク評価の方法の改善	主として(1)の ~ と共通する事項	(1)の各事項と同様。このほか、PCB中のPCDFの考慮ができないか検討
		(3) 未算定費用の追加による総事業費での評価	PCB処理事業に係る未算定費用の推定	施設の維持管理等の運営費、保管継続費用の推定などのほか、算定する費用の範囲の検討
			ごみ焼却施設ダイオキシン対策事業に係る未算定費用の推定	維持管理費用の増加、残存価値を残して立て替えた施設の取扱いなどの検討

大項目	中項目	小項目	具体的事項	進め方
. 効率性の評価	2 . その他の方法による評価	(1)費用便益分析の検討	P C B 廃棄物処理事業の便益として健康リスクの低減効果を確認的生命的価値として貨幣化	まずは、これまでの既往研究をレビューして、どのような検討ができるか方向性を検討（C V Mの検討）
		(2)有害物質の削減対策との比較	ダイオキシン対策以外の有害物質対策を比較対象とした費用効果分析	既往研究データの収集（健康影響、余命延長）
		(3)代替的費用との比較	高水準の保管費用と比較した費用効果分析	算定する費用の範囲の検討及びデータの収集
			（不明・紛失等により生ずる）土壌汚染の修復費用と比較した費用効果分析	
		(4)被害費用との比較	火災等の緊急事象による環境中への漏洩等の被害額を推定	外国事例の精査、発生確率などのデータ収集
(5)処理方法間での比較	多様な処理対象物を鑑みた高温焼却を含む処理方法間の効率性を比較	多様な処理対象物に対する効率的な処理技術の調査		

大項目	中項目	小項目	具体的事項	進め方
・その他の視点からの評価	1．事業の効果の定量化	効果の算出方法の改善（再掲）	・ 1．(1)と同様	（略）
	2．事業の効果の確保	(1)所期の期間内の処理を確保するための対策の検討	料金設定のあり方等、計画的な処理に関するインセンティブの付与等の方策の検討、抽出	事務局で方策のたたき台を用意
		(2)事業の進捗に応じた評価	再評価の実施プロセスの検討	事務局で再評価プロセスのアウトラインのたたき台を用意
	3．公共関与・公費投入	(1)環境事業団活用の利点の評価	効果の内容及びその算定手法の検討	事務局でたたき台を用意
		(2)公費投入の有効性	効果の算定手法の検討	
	4．緊急性・計画性	事業開始時期遅延の影響	事業開始時期を遅延し、処理期限を延長する場合の影響の検討	中間とりまとめ等の具体的な数値を用いた感度分析の実施
			事業開始時期を遅延し、処理期限を延長しない場合の影響の検討	
	5．公平性	世代間の公平性	ほぼ確認されているが、さらに十全な整理	事務局で考え方のたたき台を用意
		地域間の公平性	リスクコミュニケーションを念頭に置いた評価の深度化	

大項目	中項目	小項目	具体的事項	進め方	
・国民に対する説明のあり方	1. 国民全体への情報公開とコミュニケーション	(1) 国民全体と立地地域住民との認識共有につながる説明	分かりやすさを追求した説明の検討	具体的かつ実態感のある数値の算出、分かりやすい表現の検討（事務局でたたき台を用意）	
		(2) 立地地域、国民全体に共通するリスク低減効果の説明			
		(3) 我が国及び国民の国際的な責任を果たす意義に関する説明			
		(4) 事業の効率性、実際に得られた効果等の公表、再評価	説明プロセスの検討		説明プロセスのアウトラインのたたき台を用意
		(5) 効率性評価の改善（再掲）	（略）		（略）
		(6) 事業の進捗に応じた評価（再掲）	（略）		（略）
		(7) 環境事業団活用の利点の評価（再掲）	（略）		（略）
		(8) 情報発信センター的な体制の整備	関係者の適切な役割分担を踏まえた情報発信の体制整備の検討		事務局で方針を説明
		(9) 環境事業団の取組と改善プロセスの公開	ISO14001 の取得、環境報告書の発行等を検討、実施		環境事業団で検討、実施
	・立地地域住民を中心としたリスクコミュニケーション	(1) リスク及びリスクマネジメントの取組の情報発信	リスクマネジメントの実施及びその効果的な情報発信	環境事業団の取組・検討状況を報告	
(2) リスクコミュニケーションに関する評価の方法等の検討		評価手法の検討、適切な評価手法に基づく評価によるリスクコミュニケーションの改善	環境事業団の取組等をもとに検討の方向性について事務局でたたき台を用意		
・効率性・有効性の向上	環境事業団におけるコスト縮減の取組	(1) これまでの取組についての検討	これまでの取組	事務局から説明	
		(2) 拡充すべき方向性・方策の検討	コスト縮減方策の検討調査	環境事業団で調査検討するとともに、事務局で方向性のたたき台を用意	